

化学療法計画書

ID					
氏名					
生年月日					
実施部署			発行日		
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m ²)	1.50

指示医師:		
指導医師:		
投与開始予定日:	年	月 日
投与終了日:	年	月 日

病名	膀胱癌・腎盂尿管癌
治療法	ゲムシタビン+シスプラチン併用療法

	1	2
抗癌剤・商品名	ゲムシタビン	シスプラチン
規格	200mg 1g	10mg/20mL 50mg/100mL
一般名	ゲムシタビン	シスプラチン
一日投与量(規定)	1000mg/m ²	70mg/m ²
患者情報から算出した一日投与量	1501.12 mg	105.08 mg
実際の投与量	1500 mg	105 mg
	999.3 mg/m²	69.9 mg/m²
投与日	day1,8,15	day2
1クール期間	28日間	
予定クール数		
検査スケジュール	原則的に投与日に化学療法施行前セット 検査データに応じて臨時に検査実施	

適応基準	膀胱癌・腎盂尿管癌
推奨経口剤	○このレジメンは高度催吐性リスク群です。 ※5HT ₃ 受容体拮抗薬+点滴デカドロン(点滴レジメン組込み)以外に以下の経口制吐剤を推奨します。 イメド:シスプラチン投与日(点滴開始前)125mg、翌日、翌々日:80mg/日 デカドロン:シスプラチン投与2,3,4,5日目:8mg/日
禁忌	1.重篤な腎障害のある患者 2.本剤又は他の白金を含む薬剤に対し過敏症の既往歴のある患者 3.妊婦又は妊娠している可能性のある婦人 4.高度な骨髄抑制のある患者 5.胸部単純X線写真で明らかで、かつ臨床症状のある間質性肺炎又は肺線維症のある患者 6.胸部への放射線療法を施行している患者 7.重症感染症を合併している患者
中止基準	投与前の好中球数:1500/mm ³ 未満、血小板数:75,000/mm ³ 未満 骨髄機能が回復するまでは投与延期
副作用	●ゲムシタビン 重大 1.骨髄抑制(白血球減少67.2%・好中球減少60.1%・血小板減少29.5%・赤血球減少65%) 2.間質性肺炎(1.5%) 3.ショック・アナフィラキシー様症状(0.3%) 4.心筋梗塞(0.3%) 5.うっ血性心不全 6.肺水腫 7.気管支痙攣 8.成人呼吸促迫症候群(ARDS) 9.腎不全 10.溶血性尿毒症症候群 その他 悪心・嘔吐(35.2%)、食欲不振(43.4%)、低酸素血、g-GTP上昇、AST(GOT)上昇(28.9%)、ALT(GPT)上昇(32.9%)、LDH上昇(9%)、 疲労感(30.5%)、発熱(31.8%)、浮腫、無力症、インフルエンザ様症状、CRP上昇 ●シスプラチン 重大 1.急性腎障害(0.1%未満) 2.汎血球減少(0.1%未満)等の骨髄抑制 3.ショック・アナフィラキシー様症状(0.1%未満) 4.聴力低下・難聴(1.4%)、 耳鳴(1.7%) 5.うっ血乳頭(0.1%未満)、球後視神経炎(0.1%未満) 6.脳梗塞(0.1%未満) 7.血栓性微小血管症(0.1%未満) 8.心筋梗塞 (0.1%未満)、うっ血性心不全(0.1%未満) 9.溶血性貧血(0.1%未満) 10.間質性肺炎(0.1%未満) その他 悪心・嘔吐(74.6%)、食欲不振(62.2%)、脱毛(25.7%)、全身倦怠感(34.8%)
備考	

ゲムシタピン+シスプラチン併用療法【SH法】 観察記録①⑧⑮

所要時間:1時間30分

氏名: ID() 年齢: (才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬()	入外()
医師	指示医師: ゲムシタピン (mg) 一般名(ゲムシタピン)		抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の薬剤の変更・追加
	<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止			投与開始時間 調剤 実施
投与指示	本体	側管		
	生食250mL		1時間30分かけて点滴 【167mL/h】	
	生食100mL +ラモセトロン1A +デカドロン 2 A		30分かけて点滴 【200mL/h】	
	生食100mL+ゲムシタピン		30分かけて点滴 【 200 mL/h】	
本体終了後抜去				

ゲムシタピン+シスプラチン併用療法【SH法】 観察記録②

所要時間:5時間半

氏名: ID() 年齢: (才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬()	入外()
医師	指示医師: シスプラチン(mg) 一般名(シスプラチン)		抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の薬剤の変更・追加
	<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止			投与開始時間 調剤 実施
投与指示	本体	側管		
	生食 500mL +硫酸マグネシウム 10mL		1時間かけて点滴【500mL/hr】	
	生食 500mL		3時間かけて点滴【167mL/hr】	
		生食 100mL +アロキシ1V +デカドロン 3 A	30分かけて点滴【200mL/hr】	
		生食 500mL+シスプラチン 【total 500mL】	2時間かけて点滴【250mL/hr】	
	マンニトール注射液 20% 300mL	※300mLのうち200mL使用 (残は破棄)	30分かけて点滴【400mL/hr】	
	生食 500mL		1時間かけて点滴【500mL/hr】	
本体終了後抜去				
投与翌日、翌々日に1~1.5Lの経口補水を行うよう指導 → 対応困難な際は点滴にて対応すること				